

野菜だけの和食「おいしい」

台湾観光客 須賀川訪問

福島空港の直行便を利用した台湾の菜食主義者（ベジタリアン）のツアー客が27日、須賀川市を訪れ、県産野菜などを使った和食を堪能した。台湾では国民の約10％がベジタリアンなどといい、対応したツアーは需要が見込まれる。今回の企画に協力した県や市、須賀川商工会議所は今後も呼び込みを進める考え。

台湾では健康面や宗教の影響などから、穀物や野菜を中心とした料理が注目されている。須賀川商議所などの経済関係者は2月に台湾を訪れ、現地との動向を調査するなど、こうしたニーズを生かした訪日客呼び込みを検討してきた。ベジタリアン向けのツアーを企画する台湾の旅行会社「玩素食旅行社」に県や市と共に協力、本県訪問が実現した。

県によると、30日と6月中旬にも同様のツアーが予定されている。

今回のツアーには27人が参加し、台湾の航空会社「タイガリエア台湾」の直行便で23日に訪日。4泊5日の日程で猪苗代湖や鶴ヶ城（会津若松市）、大内宿（下

行政や商議所 ツアーに協力

郷町のほか宮城、山形両県の名所を巡った。27日は須賀川市の割烹万松で、ベジタリアン向けの料理を楽しんだ。

料理に肉や魚が使えないという制約があるため、かつおだしの代わりに昆布や乾燥しいたけを使ってうまみを引き出したり、須賀川牡丹園のボタンの花をゆでて酢漬けにしたりするなど、調理や彩りに工夫を凝らした。考案した割烹万松の郡部社長（44）は「日頃使っている食材を使わず、献立や味わい、盛り付けを考えることで勉強になった。食を通して、須賀川に多くの観光客が来てくれたらうれしい」と話した。

50代男性の旅行客は「われわれベジタリアンは、通常の旅行だと食事面の心配がある。今回はその心配がなく、おいしい日本食を楽しむことができた」と笑みを浮かべた。



工夫を凝らした料理を堪能する観光客

▲ 5月28日 福島民友新聞掲載

県や須賀川市、須賀川商工会議所が台湾からの観光客を呼び込もうとしているのはどのような理由からですか。

台湾からの観光客が訪れた割烹万松では、どのような工夫をしてもてなしましたか。

多様な食の好みに対応した観光客の呼び込みに関して、どのようなことを考えましたか。
